

平成 23 年 10 月 17 日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名	振動・騒音に配慮した鋼橋の使用性能評価に関する検討小委員会	委員長	深田宰史	連絡幹事	酒井修平
活動予定期間	平成 20 年 9 月 ～ 平成 23 年 8 月 (3 年間)				
活動の目的	<p>大型車両が橋梁上を走行することによって橋梁から発生する振動・騒音問題は、交通量、橋梁形式、立地条件等の様々な要因が複雑に絡み合っているために解決が困難である。このような状況から、これまで「鋼橋の振動・騒音に関する環境負荷低減工法の評価検討小委員会」にて様々な振動・騒音対策に関する事例の収集を行ってきた。</p> <p>本小委員会では、新設橋梁に対しては計画・設計段階において、また既設橋梁に対しては供用期間において発生が懸念される振動・騒音を予測し、快適な橋梁周辺環境を提供できる使用性能を有した橋梁の計画・設計および維持管理に活用できるような情報をまとめる。</p>				
前回鋼構造委員会報告後の活動状況	<p>第 11 回委員会 2011 年 8 月 8 日 大日本コンサルタント大阪支社会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終報告書のとりまとめ ・橋梁振動コロキウム 2011 のプログラム編成 <p>橋梁振動コロキウム 2011 2011 年 9 月 21-22 日 土木学会講堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 73 名 (会員 49 名, 非会員 3 名, 学生 21 名) ・投稿論文数 27 編 ・2 日目の午後に本小委員会の成果報告会を行った。 				
今後の活動計画	平成 23 年 9 月の橋梁振動コロキウムでの成果報告会をもって活動を終了する。				
成果	<p>本小委員会の活動成果として主な項目を以下に列挙する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振動・騒音問題に対する測定方法 (3 章) ・高架橋周辺において発生した環境振動問題の要因分析 (4 章) ・振動・騒音問題に対する対策方法 (5 章) ・振動解析を用いた環境振動アセスメント (6 章) ・振動・騒音問題に対する評価方法 (7 章) ・計画・設計、維持管理において配慮すべき点 (8 章) 				
PR ポイント	橋梁振動コロキウム 2011 論文集および振動・騒音に配慮した鋼橋の使用性能評価に関する検討小委員会の成果報告書を電子データとして CD にしてまとめましたので会場で配布いたします。				
その他					